

吉田幸一編

佐談百物語

古典文庫

吉田幸一編

佐談百物語

古典文庫

古典文庫第六二七冊

平成十一年二月二十日印刷発行
非売品

編者 吉田幸一

発行者 吉田幸一

印刷者 白橋印刷所

製本者 共伸舎

語 物 百 談 怪

発行所

114-0024

東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二
古典文庫

電話 〇三(三九一〇)二七一七
振替口座 〇〇一九〇九一四五九七番

繪本

百物語

五

(目 録)

卷一

白蔵主

飛縁魔

狐者異

塩の長次郎

磯なで

死神

野宿の火

寝ぶとり

周防の大蝦蟆

卷二

豆狸

山地々

柳おんな

老人の火

讃岐の手洗ひ鬼

出世ほら

旧鼠

ふた口おんな

みぞいだし

卷三

葛の葉

芝右衛門狸

波山

かたひらが辻

齒黒べつたり

あかゑいの魚

船幽霊

遺ごん幽霊

水乞ゆふれい

卷四

手負蛇

五位のひかり

かさね

お菊むし

野鉄ぼう

天火

野きつね

鬼くま

神なり

第五

小豆あらひ

山おのこ

恙むし

風の神

鍛治が鼻

柳ばゞ

桂おとこ

夜楽屋

舞くび

白虎王
 公虎王の事ハ根云々を作
 人乃知多しある事は
 界一川

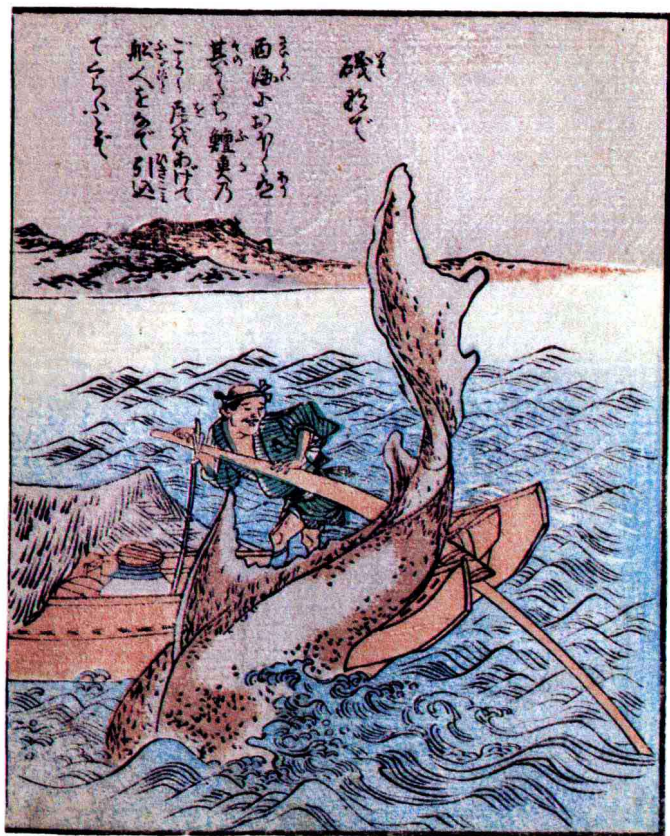


頼るはちうへにふれそいと
おをぬきまのこゝへあけく
出づ男の精血を吸つておふも
やねむとさむ



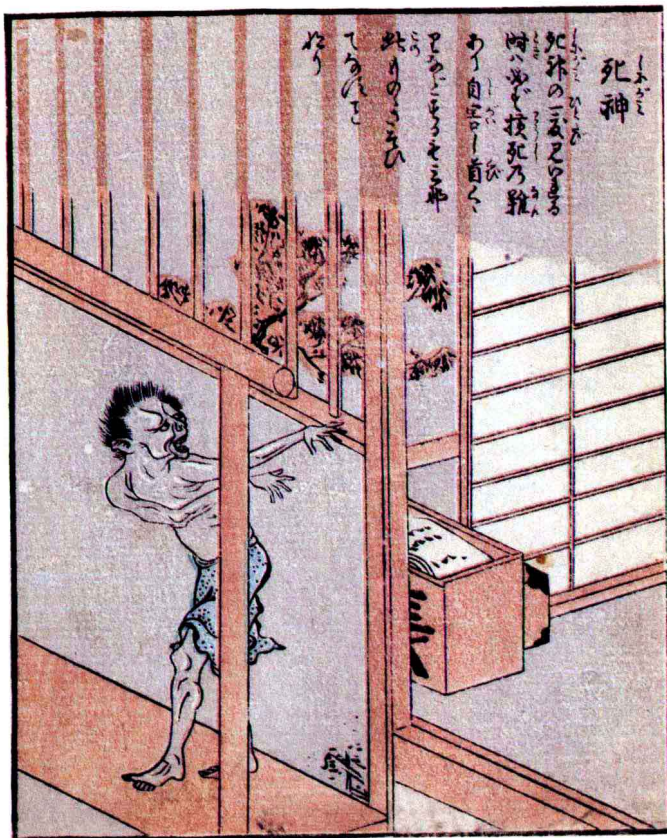






死神

死生の二氣見ゆる
時ハ必ズ技死乃難
あつ自害一首く
てふはこ
ぬり



のちひ
聖宿の犬

きつねがきをわくも草原の犬もきつね
 春の橋より秋にわたるうさぎあやふ
 大いえあやふのあやふのあやふのあやふ

あやふのあやふの
 のちひの犬
 聖宿の犬

ふり

きん



麻ふとろ

むうゝえあゝめらうき
あんならうゝが秘伝
時々その家、文を中
にあういふきつゝあ
事れとゝあゝうゝゝ
これんきふ秘ふとろ
とつふまのにはき







山地々

二方めふの藤
 息をまてあはに
 て其人の胸を
 かくと知る
 死なると知りまほ
 めい柿まの人目を
 さませをうて今
 まゝとふ
 奥のれにおや
 くあつて
 ぬつてふ

